

# Pacific Music Festival 2022

Guide Book



www.pmf.or.jp

7.16<sup>土</sup> → 8.2<sup>火</sup>

会場 札幌コンサートホールKitara、札幌芸術の森  
苫小牧、江別、函館、奈井江、東京

パシフィック  
ミュージック  
フェスティバル  
札幌2022

# ようこそ、PMF2022へ 海外アーティストを加えた「PMFオーケストラ」を 3年ぶりに結成いたします

爽やかな夏の訪れとともに、いよいよPMF2022が開幕いたします。

20世紀を代表する音楽家レナード・バーンスタインが

「世界の若手音楽家の育成」を理念として

1990年に創設したPMFは今年で32回目を迎えます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、

ここ2年は海外からアカデミー生や教授陣を招くことができませんでしたが、

今年は様々な対策を講じたうえで世界各国からアーティストの皆様をお迎えします。

アカデミー生の指導にあたるのは、イスラエル・フィル音楽監督で

PMF2022首席指揮者をつとめるラハフ・シャニヤ、

世界中の著名なオーケストラと共演を重ねる

客演指揮者のケン=デイヴィッド・マズア、

そしてウィーン・フィル、ベルリン・フィル、アメリカのメジャーオーケストラの首席奏者たち。

これに加え、国内オーケストラなどで活躍する

PMF修了生等がセクションリーダーとして教授陣を支えます。

また、ソリストには、ジャズ界はもとより

クラシックでも活躍する日本のトップピアニスト小曾根真をはじめ、

多彩なアーティストがPMFのステージに登場します。

国際色豊かなメンバーによる3年ぶりの「PMFオーケストラ」が奏でる

みずみずしく熱のこもった演奏を、ぜひとも会場にてお楽しみください。

開催にあたり、このPMFにご支援をくださった企業、団体、個人の皆様、

そして音楽を愛する札幌市民をはじめとするすべての皆さまに心から感謝いたします。

公益財団法人

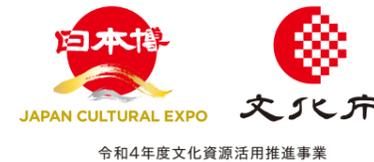
パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

理事長 秋元 克広

メインスポンサー



助成



令和4年度文化資源活用推進事業



特別後援

北海道新聞社 / 日本経済新聞社 / HTB北海道テレビ

特別協賛

日本信号 / 野口観光 / アミノアップ / 野村證券札幌支店 / イオン北海道 / 札幌丸井三越 / 日本航空

東京公演協賛

アイネス / 山崎製パン

協賛

北海道銀行 / 学校法人 北星学園 / 小林皮膚科クリニック / 旭イノバックス / 伊藤組土建 / 北洋銀行 / パナソニック ホールディングス / 北海道ガス / 札幌商工会議所 / ロイズコンフェクト / 岩田地崎建設 / ガバメイツ / 日本電信電話 / フルテック / 岩倉建設 / NTTデータ北海道 / アショフ・ホンマ記念財団 / サンケイビル / 大和ハウス工業北海道支社 / 札幌都市開発公社 / さっぽろ東急百貨店 / 札幌駅前総合開発 / 北盛電設 / 石屋製菓 / サッポロビール / 鈴与グループ / 北海道キリンビラレッジ / BIPROGY / 札幌駅前通まちづくり会社 / エア・ウォーター北海道 / 学校法人 北海道科学大学 / ビルドプロテック / ホッカンホールディングス / 地下水コンサル / 月寒のぶおか内科消化器内科 / リコージャパン / JR北海道 / つばめ自動車

協力

ナニワ / 大丸 / 丸水札幌中央水産 / カネシメ高橋水産 / さっぽろ厚別通整形外科 / エア・ウォーター物流 / 学校法人 北海学園 / 学校法人 北翔大学 / 池田煖房工業 / 照之家商店 / 丸彦渡辺建設 / ほくよう保険サービス / ノースパシフィック / 札幌北洋リース / 京都マルタヤ  
他 匿名1社

寄付

ダンテック / オーク / 北海道CGCみどりところの基金 / PMFを応援する会 / 札幌電設業協会 / 双豊電気 / ほくていホールディングス / 札幌中央アーバン / 札幌北洋カード / 交洋不動産  
他 匿名1社・1個人

私は今、再び選択に迫られています。

音楽のために、そして音楽を通じて人々のために何をなすのがベストであるか。

神から与えられた残りの時間を、一番最初に愛したピアノに立ち返り、

ベートーヴェンのソナタ全曲を演奏すべきものなのか。

あるいは指揮者としての活動に専念し、ブラームスの交響曲全曲を演奏し続けるべきか。

それとも作曲家としての活動に専念し、様々な曲を作るべきなのか。

71歳にもなれば、そのような問題について、考えるものです。

そして、それほど迷うことなく、このような結論に達したのです。

残ったエネルギーと神が与えたもうた時間を教育に捧げ、私が知っていることすべて、

分かち合えるものは何でも、多くの若い世代、そのなかでも特に若い人たちと分かち合うべきだと。

音楽についてだけでなく、芸術についても、

そして芸術についてだけでなく、芸術と人生の関係についても。

更に、自分らしくあることについて、真の自分を知ること、

「自分が何であるのかを知ること」、そして最善を尽くすことについても。

このようなことについて、できるだけ多くの人々に伝えることが出来るなら、

私はとても幸せです。

そして、パシフィック・ミュージック・フェスティバルこそ、

私の残された人生を捧げるべき献身と情熱の対象なのです。

レナード・バーンスタイン

1990年6月26日 PMF1990 開会式での挨拶から

Leonard Bernstein®

PMF創設者

レナード・バーンスタイン (1918-1990)

Leonard Bernstein

指揮者、作曲家、ピアニスト、教育者

20世紀を代表するアメリカ出身の指揮者、作曲家、ピアニスト、音楽教育家。ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』など後世に残る作品を残した。「音楽を通じて世界の平和に貢献したい」という彼の想いにより、PMFが創設された。

## 現代に息づく バーンスタインのスピリット

文 小室 敬幸 (音楽ライター)

ステイヴン・スピルバーグ監督による新しい『ウエスト・サイド・ストーリー』が、今年2月に日本でも公開されたことで、「作曲家」としてレナード・バーンスタイン(1918~1990)に再び注目が集まっている。更にはNetflixで、今年5月からバーンスタインの伝記映画『マエストロ』の撮影が開始された。この伝記の制作陣にはスビルバーグ、マーティン・スコセッシに、(ア)メコミ映画で初めてヴェネツィア国際映画祭を制したトッド・フィリップスが名を連ね、監督とバーンスタイン役の両方を人気俳優ブラッドリー・クーパーが、妻フェリシア役にはキャリアー・マリガンが、それぞれ務めることとなっている。配信されれば音楽ファンならずとも彼の魅力的なキャラクターに改めて注目が集まることは必至。

バーンスタインが亡くなったのは1990年なので既に30年以上経っているわけだが、クラシック音楽業界という枠を超えて話題を呼び続けるのは何故なのだろうか?(バーンスタイン以外のクラシックの指揮者・作曲家で、伝記映画がNetflixで制作されるなんて、想像もできない!)。まず理由として考えられるのは、没後に彼の作品が演奏される機会が増えていったことにより、作曲家として再評価が進んでいることだ。

何故か?それは昨今のグラミー賞クラシック部門やピューリッツァー賞の音楽部門の受賞・ノミネート作を聴くと分かるように、彼が生涯を通じて追求していたクラシック音楽とポピュラー音楽との融合。まさにそれこそが今やアメリカ音楽のメインストリームとなっているからだ。言い換えれば、やっとな時代が作曲家バーンスタインに追いついたといえる。

また、フィラデルフィア管弦楽団とメトロポリタン歌劇場の監督を兼任している指揮者のヤニック・ネゼーセガンは「バーンスタインは今日の私たち音楽家全員

に、今の時代の世界において音楽家としてどうあるべきかを示してくれたのですが、彼は時代の先を行っていました」と語っているのだが、「自分の方に人々を連れてくる」のではなく「自分が人々の方に行く」というバーンスタインの姿勢がその理由であった。バーンスタインは1970年にタンゲルウッド音楽祭の芸術顧問に就任した際にも、このように述べている。

芸術家のみが、「いまだなされざる」とNot Yet!を実現できるのです。ではその方法は?「……」自分がうまくできること、それも特別に抜くん出ていることを見つけたくない。学びというのはそういうことです。「……」今風のわけ知り顔で「好きなことをせよ」といっているではありません。「……」それではなにかをなしたことはない。なにかをなすとは、古臭い言い方で恐縮ですが、自分の属する共同体に奉仕すること。その共同体とは小さな町でも六大陸でもかまいません。(棚橋志行 訳)

誤解なきように付記しておくならば、リベラルなバーンスタインの発言なので、全体主義を強要しているわけでは勿論ない。自らの意思で自らの所属する共同体を選びとり、自らの意思で愛したものたちのために自分の命を賭しなさいと語っているのだ。だからこそバーンスタインは自ら人々の方に向いて行ったのであるし、残り少ない人生であることが分かった上で教育者として身を燃やすことを選んだのだ。こうして生まれたのがPMFであることは言うまでもない。

世界の分断が叫ばれる2020年代において、個々人の自由を尊重しつつ、世界の調和も実現するためにはどうすべきか?今こそバーンスタインの姿勢や思想に注目が集まるのは必然であるように思われる。



小室 敬幸 こむろ たかゆき

東京音楽大学の作曲専攻を経て同大学院の音楽学研究領域を修了。作曲を池辺晋一郎氏らに師事。国内プロオーケストラの曲目解説や、著名アーティストのインタビュー記事を執筆する。

# スケジュール | Schedule

※やむを得ない事情により、開演時間、出演者、曲目等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.13(水) PMF2022 プレイベント PMF公開マスタークラス I ～ヴァイオリン／クラリネット～

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 18:30開演(開場18:00)  
指導 ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)  
アレクサンダー・バーダー(クラリネット)

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.14(木) オープンリハーサル PMFオーケストラ(プログラムA)

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 14:00～(受付13:30)  
出演 ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)  
PMFオーケストラ ほか

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.14(木) PMF2022 プレイベント PMF公開マスタークラス II ～トランペット～

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 18:30開演(開場18:00)  
指導 タマーシュ・ヴェレンツェイ(トランペット)

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.15(金) オープンリハーサル PMFオーケストラ(プログラムA)

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 14:00～(受付13:30)  
出演 ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)  
PMFオーケストラ ほか

## 室内楽

### 7.15(金) <PMF2022 プレコンサート> PMFウィーン演奏会 前売券完売

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 19:00開演(開場18:30)  
出演 PMFウィーン(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団メンバー)

## メインプログラム-02(プログラムA)

### 7.16(土) PMF2022 オープニング・コンサート

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 15:00開演(開場14:00)  
出演 ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)  
金川真弓(ヴァイオリン)  
上野通明(チェロ)  
北村朋幹(ピアノ)  
PMFヨーロッパ  
PMFオーケストラ



## メインプログラム-02(プログラムA)

### 7.17(日) PMFオーケストラ苦小牧公演

会場 苦小牧市民会館  
時間 18:30開演(開場18:00)  
出演 ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)  
金川真弓(ヴァイオリン)  
上野通明(チェロ)  
北村朋幹(ピアノ)  
PMFヨーロッパ  
PMFオーケストラ



## 音楽普及・教育プログラム

### 7.18(月・祝) PMFクラシックLABO♪ 音楽を旅する ドイツ編

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 13:00開演(開場12:30)  
出演 飯田有抄(企画監修・ナビゲーション)  
piaNA(ピアノデュオ 西本夏生 & 佐久間あすか)

## 室内楽

### 7.18(月・祝) PMFベルリン演奏会 前売券完売

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 18:00開演(開場17:30)  
出演 PMFベルリン(ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団メンバー)

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.19(火) PMFリンクアップ・コンサート

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 13:45開演(開場13:15)  
出演 札幌市立小学校(7校)の小学6年生 約580人  
ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)、九嶋香奈枝(司会・ソプラノ) ほか

## 室内楽

### 7.19(火) PMFアンサンブル・セレクション

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 19:00開演(開場18:20)  
出演 ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)、金川真弓(ヴァイオリン)、  
上野通明(チェロ)、北村朋幹(ピアノ)、piaNA(ピアノデュオ) ほか

## 室内楽

### 7.20(水) PMFアンサンブル演奏会

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 14:00開演(開場13:30)  
出演 PMFオーケストラ・メンバー

## 室内楽

### 7.21(木) PMFアンサンブル江別公演

会場 江別市民文化ホール(えぼあホール)  
時間 18:30開演(開場18:00)  
出演 ハインツ・コル(ヴィオラ/PMFウィーン)  
佐久間晃子(ピアノ)、PMFオーケストラ・メンバー

## 室内楽

### 7.21(木) PMFアンサンブル清田区公演

会場 札幌国際大学総合情報館シアター  
時間 19:00開演(開場18:30)  
出演 PMFオーケストラ・メンバー

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.22(金) オープンリハーサル 札幌交響楽団(PMFホストシティ・オーケストラ演奏会)

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 15:30～(受付15:00)  
出演 ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)、ダニエル・マツカワ(ファゴット)  
札幌交響楽団

## オーケストラ

### 7.22(金) PMFホストシティ・オーケストラ演奏会

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 19:00開演(開場18:20)  
出演 ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)、ダニエル・マツカワ(ファゴット)  
札幌交響楽団、ライナー・キュッヒル(ゲストコンサートマスター)

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.23(土) PMF公開マスタークラス III ～ヴィオラ&室内楽～

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 14:00開演(開場13:30)  
指導 ハインツ・コル(ヴィオラ)

## 室内楽

### 7.23(土) PMFアンサンブル奈井江公演

会場 奈井江町文化ホール(コンチェルトホール)  
時間 15:00開演(開場14:30)  
出演 PMFオーケストラ・メンバー  
佐久間晃子(ピアノ)

## 室内楽

### 7.24(日) PMFアンサンブル演奏会 ～第19回 地域ふれあいコンサート～

会場 札幌市苗穂・本町地区センター  
時間 13:30開演(開場13:00)  
出演 PMFオーケストラ・メンバー

## 室内楽

### 7.24(日) PMF時計台コンサート

会場 札幌市時計台ホール  
時間 19:00開演(開場18:30)  
出演 PMFオーケストラ・メンバー  
佐久間晃子(ピアノ)

## 室内楽

### 7.25(月) PMFアンサンブル函館公演

会場 函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)  
時間 18:30開演(開場17:45)  
出演 ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)、ハインツ・コル(ヴィオラ)  
PMFオーケストラ・メンバー

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.27(水) PMF公開マスタークラス IV ～フルート／ホルン～

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 18:30開演(開場18:00)  
指導 デニス・ブリアコフ(フルート)  
ウィリアム・カバレロ(ホルン)

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.28(木) オープンリハーサル PMFオーケストラ(プログラムB)

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 14:00～(受付13:30)  
出演 ラーフ・シャニ(指揮)  
PMFオーケストラ

## 室内楽

### 7.28(木) PMFアンサンブル演奏会

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 19:00開演(開場18:30)  
出演 PMFセクションリーダー  
PMFアメリカ ほか

## 音楽普及・教育プログラム

### 7.29(金) オープンリハーサル PMFオーケストラ(プログラムB)

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 14:00～(受付13:30)  
出演 ラーフ・シャニ(指揮)  
PMFオーケストラ

## 室内楽

### 7.29(金) PMFアメリカ演奏会

会場 札幌コンサートホールKitara(小ホール)  
時間 19:00開演(開場18:30)  
出演 PMFアメリカ(北米のメジャー・オーケストラの首席奏者)

## メインプログラム-01(プログラムB)

### 7.30(土) ピクニックコンサート 〈レナード・バーンスタイン・メモリアル・コンサート〉

会場 札幌芸術の森・野外ステージ  
時間 13:00開演(開場12:00)  
第1部/13:00～  
出演 ダニエル・マツカワ(指揮)  
HBCジュニアオーケストラ ほか  
第2部/14:30～(予定)  
出演 ラーフ・シャニ(指揮)  
小曾根真(ピアノ)  
PMFアメリカ  
PMFオーケストラ ほか



## メインプログラム-01(プログラムB)

### 7.31(日) PMF GALAコンサート

会場 札幌コンサートホールKitara  
時間 15:30開演(開場14:50)  
第1部/15:30～  
出演 ニコラ・プロカッチーニ(オルガン)  
三浦文彰(ヴァイオリン)  
高木竜馬(ピアノ) ほか  
第2部/17:00～(予定)  
出演 ラーフ・シャニ(指揮)  
小曾根真(ピアノ)  
PMFアメリカ  
PMFオーケストラ



## メインプログラム-01(プログラムB)

### 8.2(火) 日本イスラエル外交関係樹立70周年記念 PMFオーケストラ東京公演

会場 サントリーホール  
時間 19:00開演(開場18:00)  
出演 ラーフ・シャニ(指揮)、小曾根真(ピアノ)  
PMFオーケストラ

作曲背景の共通点から語る

## 「伝統×独自性」、プロコの協奏曲と 美しい環境が生んだ、ブラームスの交響曲

文 小室敬幸(音楽ライター)

### プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番 八長調 作品26

この曲が完成にむけて集中的に書き進められたのは、今から100年ほど前の1921年の夏のこと。当時のプロコフィエフはアメリカに拠点を置きつつも、ヨーロッパに長期滞在もしており、この協奏曲もフランスのサンブルヴァン・レルバン(ナント)の西に位置する海辺の街(で主に作曲された。しかし、用いられている素材は早いものだと1911年のスケッチに遡れるため、実質的には10年間にわたって書き溜めてきたアイデアを盛り込んだ作品といえるだろう。

初演は1921年、シカゴ交響楽団で作曲家自身のピアノによって行われている。アメリカでは先鋭的な作風が受け入れられないことが分かっていたため、前作(ピアノ協奏曲第2番)に比べるとネオ・クラシックな作風が基調となっていたのが特徴だ。伝統的なスタイルで書かれた第1楽章ではピアノのソロと共に第1主題を示す手法などまさに

その典型といえるもの。それに対し、カスタンネットをともなつて気だるく登場する第2主題にはプロコフィエフらしい捻りが増えられている。展開部の中盤以降では序奏の柔らかな旋律も組み合わせ、ドラマを築き上げてゆく。主題と5つの変奏からなる第2楽章では、叙情性と諧謔性―つまり緩徐楽章とスケルツォの要素をミックスさせている。第3楽章はロンド形式風だが、急―緩―急の三部形式。冒頭に提示される主題は、プロコフィエフ自身が日本滞在中に耳にした音楽からの影響とされることもあるが根拠はない。

ちなみにこの曲と演奏者の小曽根真が出会ったのは1983年のこと。メジャーレーベルからのデビューが決まった22歳の頃、作曲のアイデアを得るべく友人から薦められて聴いたのが初めてであった。小曽根自身、この曲を若き日の「作曲の原点」と述べているほど大きな影響を受けている。

### ブラームス：交響曲第2番 二長調 作品73

前記プロコフィエフ作品と比べると40年以上前の作品となるが、夏に自宅から離れたところで集中的に書かれたという共通点をもっている。1877年5月末、完成まで20年以上を要したことで知られる交響曲第1番の楽譜を出版社に送ると、6月9日からウィーンから300kmほど南西に位置するベルチャハを訪れた。休暇を過ごすのかと思いきや、「ここには旋律が飛び交っている」と書き残しているほど美しい山々とヴェルター湖に囲まれた環境に感銘を受け、ブラームスは再び交響曲の作曲を開始。遅くとも10月には完成し、12月30日にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団によって初演がおこなわれた。

第1楽章の冒頭、低弦が奏するモチーフが、全4楽章の随所に織り込まれることで作品全体を統一している。このモチーフと並行してホルン、次いで木管楽器群が穏やかに明るく奏で

# PMF 2022 Main Program-01 (プログラムB)



指揮者

ラハフ・シャニ Lahav Shani

1989年イスラエル・テルアビブ生まれ。6歳からピアノを始め、当初はピアニストとして活動、パレンボイムの薫陶を受ける。2018年ロッテルダム・フィルの首席指揮者に就任、またたく間に頭角を現し、20年からはズービン・メータが50年間つとめたイスラエル・フィルの音楽監督を引き継ぐことが発表され、大きな話題になった。PMFには初めての参加。

## 欧州の音楽界で時代をつくる、若き巨匠の魅力

骨太、雄渾な音楽づくり。覇気や若さばかりでなく、祈りの情趣がまた素晴らしい。ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者とイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督を兼務する「音楽家」ラハフ・シャニは、ピアノとタクトの両輪でセンセーションを巻き起こし続けている。

本物だ。恐るべき才能だ。何を大げさなというなかれ。映像で、録音で、ステージでシャニの躍進が続く。

旅の思い出をお許しいただければ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのパッサのピアノ協奏曲ニ短調とマーラー「巨人」(2015年11月ウィーン楽友協会、フランツ・ウェルザー＝メストの代役)が忘れ難い。妙技と誇り高き名門楽団に物怖じしない構えの大きな音楽づくりに酔った。「巨人」は勝負曲のようで、読売日本交響楽団との日本デビュー(2016年4月)でも指揮している。

最初にこの人を見かけたのはイスラエル・フィルのコントラバス・セクションで、だった。旧知の楽員曰く「ラハフは家族。子どもの頃からよく知っている」。テルアビブのブッフマン＝メータ音楽学校とベルリンのハンス・アイスラー音楽大学で学び、18歳の時(2007年)にズービン・メータ指揮のイスラエル・フィルとチャイコフスキーの

ピアノ協奏曲第1番を弾いた。

アンサンブルを愛するラハフ・シャニは2010年、同フィルのコントラバス奏者を「兼務」。2013年には、バンベルク交響楽団主催の第4回グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで第1位に輝く。ちなみに同コンクール初回(2004年)の覇者はグスターボ・ドゥダメルだ。

今どきの鮮やかなメカニック、テクニックを会得したマエストロだが、彼は才に溺れないし奇もてらわない。王道をゆく。中欧の老舗、名門楽団との相性がいい。いっぽうヴァイオリンのアンネ＝ゾフィー・ムター、ピアノのイェ

フィム・ブロンフマン、ダニール・トリフォノフからの信頼も篤い。

今春、ミュンヘンでウクライナのためのコンサートを指揮。ペーターヴェンを仲立ちにムター、ミュンヘンの3大オーケストラ(ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響、バイエルン国立管)メンバーと交歓した。この模様は3月26日にNHKで放送され大きな話題となった。

今夏、国際教育音楽祭 PMF で創造の喜びを分かち合う。アカデミー生、小曽根真との相乗効果が楽しみだ。開演が近い。

文 奥田 佳道(音楽評論家)

## 王道と新しさ 生きる音楽づくり

## 音楽家が集い、生きることそのものを 音で表現しようとする場

### — PMFには14年ぶりのご出演で、ラハフ・シャニさんとプロコフィエフのピアノ協奏曲第3番を演奏されます。

ラハフとはすごく縁があるんです。初めて会ったのは10年近く前、ハノーファーでのこと。まだ学生だった彼が代役を務め、ラフマニノフ「パガニーニの主題による狂詩曲」を共演しました。

実はその時、僕は翌年に札幌交響楽団とプロコフィエフの3番を弾く予定があって、練習室で四苦八苦しなごらさっていました。するとそれを見たラハフが、「その指遣いでは弾けないよ」と言って運指を教えてくださいました。彼はもともとピアニストですからね。おかげで弾けるようになったんです。以来、共演したり食事をしたり、お付き合いが続いています。あの時の“ピアノの先生”とこの曲を共演できるのですから、嬉しいですね。

### — 指揮者としての印象は？

すばらしいですよ、容赦ないですし(笑)。もちろんわざと難しいことをさせるわけではありませんが、“音楽がそこに行きたいと思っている”ことについては、まったく遠慮してくれません。例えば「パガニーニ」は第19変奏からテンポアップしますが、僕が「一度テンポを落とさないと次が弾けない」と言ったら、「いや、それは君の都合だからダメだ」と言うんですよ。だから最後は本当に速くて。でもあとで録音を聴くと、結構弾けているんですよ。妻(俳優の神野三鈴さん)も、こんなにうねりのある「パガニーニ」は初めて聴いた、すばらしい!とっていました。

彼のような天才指揮者は、容赦はないけれど、一緒に演奏するとすごく楽しいです。

### — プロコフィエフの3番は、小曾根さんがクラシックに開眼するきっかけとなった特別な作品だそうですね。

そうなんです。コンポーザーとしてデビューするにあたってもっと勉強しなくてはと思い、聴いた作品がこれでした。1楽章が心に響いて繰り返し聴きましたね。その意味で、僕の作曲の原点なんです。……プロコフィエフには、君、それほどの曲を書けているの?とやられてしまうかもしれませんが。

やはりハーモニーの組み立て方に圧倒されました。僕らジャズミュージシャンは音楽を縦に聴くので、クラシックを演奏するときもハーモニーの合成の仕方が独特になるんです。これは弾き方では

なく聴き方の違いに由来しているので、簡単には変えられません。いずれにしてもせっかく僕が弾くのだから、僕が聴こえているものをみなさんと共有できたらいいと思います。

### — 昨年リリースされた60歳記念アルバムでは、プロコフィエフのピアノソナタ第7番の終楽章を収録されています。これもまた、アドリブの入った小曾根さんならではの演奏でした。

音楽はそのとき聴こえてきたものを弾くことが“真実”です。クラシックを演奏するようになって気づきましたが、譜面通りに弾くことも、その時感じたものを弾くという意味では“即興”なんですよ。

あの録音のときも、13テイクまではアドリブなしで弾いていたんです。でも翌日もう一度録りたいと思って弾き始めたら、アドリブのパートが聴こえて自然とはじまりました。それまではまだ、アドリブに出て行ったら戻ってこられない気がして怖かったのです。出ていくのは簡単ですが、ちゃんと元の物語に戻ってくることはすごくむずかしいですからね。でもあのときは、その音が聴こえてきた。そうして生まれる音楽は、真実なのです。

### — 2008年のPMFでは、尾高忠明さんとバーンスタイン「不安の時代」を演奏されています。

思い出深い公演です。静かな場面で客席の携帯電話が鳴ってしまうハプニングがありました。演奏家はよく、本番には必ず魔物がいると言いますが、「ああ、今日はそこから来たのか」と思いましたね。気にしてはいけなくてそのまま弾き進めていったら、ちょうどさっき鳴った着信音と同じコードが出てきたのでそのフレーズを弾いたら、お客さんが笑ってくれたんです。ほっとしました。ざわつく客席に僕が「次行くよ」と伝え、静かになったところに最後のフレーズを弾いて、オーケストラが入ってきた。涙が出るほど感動的な瞬間でした。

### — PMFとバーンスタインには、どんな想いがありますか？

バーンスタインは、音楽史上の天才作曲家と並ぶすばらしい存在です。PMFは、そんな彼が音楽のすばらしさを次代に伝えたいと始めたものですね。それも難しく高尚なものとしてではなく、三度の食事のような日常的な存在として、でもクオリティは最高というのが信条です。

こうでなくてはならないというものはあるけれど、そのスケールが大きい。生きていることそのものを音で表現しようとしているかのように。若い演奏家たちが必死にそこに向かおうとする姿に、尊さを感じました。

バーンスタインはもういないけれど、超一流の音楽家が集まり、そのスピリットをしっかり伝えようとしている。PMFからは、そんな雰囲気を感じます。参加することができて光栄です。

取材・文 高坂 はる香(音楽ライター)



小曾根 真 おぞね まこと

1983年バークリー音大ジャズ作・編曲科卒業。同年アルバム「OZONE」で全世界デビュー。ジャズの最前線で活躍。近年はクラシックにも取り組み、国内外の主要オーケストラと共演を重ね、高い評価を得ている。PMFには、08年にPMFオーケストラと札幌交響楽団のメンバーと共にバーンスタインの「不安の時代」を演奏して以来、2回目の参加。

7.30<sup>土</sup>  未就学OK

青空の下で聴くブラームスの『田園』交響曲

## ピクニックコンサート

〈レナード・バーンスタイン・メモリアル・コンサート〉

- 会場** 札幌芸術の森・野外ステージ
- 時間** 第1部 13:00開演(開場12:00)／第2部 14:30～(予定)
- 入場料** 椅子自由席:¥3,000(U25:¥1,500)  
芝生自由席:¥2,000(U25:無料)  
駐車予約券:¥500(なくなり次第販売終了) (完売)

臨時駐車場(有料¥500)の  
詳細はこちら



ヤマハの楽器体験イベント  
**TOUCH&TRY** 同時開催 入場無料

会場:札幌芸術の森・アートホール 詳細は公式サイトにて

### [第1部]

From OZONE Till DAWN  
PMF Special Trio  
鈴木瑠子×松井秀太郎×石川紅奈

ダニエル・マツカワ(指揮)  
HBCジュニアオーケストラ

◆チャイコフスキー:バレエ組曲「眠れる森の美女」作品66a から

### [第2部]

ラハフ・シャニ(指揮) PMFアメリカ  
小曾根真(ピアノ)\* PMFオーケストラ

◆プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26\*  
◆ブラームス:交響曲 第2番 二長調 作品73 ほか

7.31<sup>日</sup>  託児 詳細P30

異才の出会いがどんな化学反応を引き出すか

## PMF GALAコンサート

- 会場** 札幌コンサートホールKitara
- 時間** 第1部 15:30開演(開場14:50)／第2部 17:00～(予定)
- 入場料** 指定S:¥8,000／指定A:¥6,000／指定B:¥4,000  
U25:各席半額

### [第1部]

ニコラ・プロカッチーニ  
(第22代 札幌コンサートホール専属オルガニスト)

From OZONE Till DAWN  
PMF Special Trio  
鈴木瑠子×松井秀太郎×石川紅奈

三浦文彰(ヴァイオリン)  
高木竜馬(ピアノ)

◆プログラム調整中

### [第2部]

ラハフ・シャニ(指揮) PMFアメリカ  
小曾根真(ピアノ)\* PMFオーケストラ

◆プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26\*  
◆ブラームス:交響曲 第2番 二長調 作品73 ほか



三浦文彰



高木竜馬



鈴木瑠子  
(ピアノ)



松井秀太郎  
(トランペット)



石川紅奈  
(ベース)



### 自然と聴く。音楽に触れる第一歩。

コンサートホールのクラシック演奏会は、もの音一つ立てられないから堅苦しい、苦手だという方は、是非ともPMFピクニックコンサートを体験していただきたい。

芝生席では、レジャーシートを敷いて寝っ転がって、ゆったりくつろいで聴けるのだ。しかも25歳以下は、無料!!赤ちゃんも、幼稚園児も音楽に触れられる。ABCを覚える前に「PMF」を覚えてくれるかもしれない。そんな野外ステージは、木々に囲まれたフィールドに建てられている。晴れた日は、青空の大海原に浮かぶ白い帆船のようだ。ここで、数々の名演奏が行われてきた。

マーラーの交響曲第1番が演奏されたある年。第1楽章でカッコウが鳴くような音を、木管楽器が奏でる部分がある。まるでその音に反応するかのように、野外ステージから少し離れた木々の中から「チッチ」「ピッピ」と鳥のさえずりが聞こえ、掛け合いが続いた。木管楽器と野鳥の共演は、今でも私の記憶の中で「名演」として刻み込まれている。今年も運が良ければステージ上の楽器と、森の鳥たちの共演が聴けるかもしれない。

高山 秀毅(AIR-G FM北海道 アナウンサー)



8.2<sup>火</sup>

3年ぶり待望の東京公演!

### 日本イスラエル外交関係樹立70周年記念 PMFオーケストラ東京公演

- 会場** サントリーホール
- 時間** 19:00開演(開場18:00)
- 入場料** 指定S:¥9,000／指定A:¥7,000／指定B:¥5,000  
U25:各席半額

ラハフ・シャニ(指揮)  
小曾根真(ピアノ)\*  
PMFオーケストラ

[プログラム]  
◆プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26\*  
◆ブラームス:交響曲 第2番 二長調 作品73 ほか



# PMF 2022 Main Program -02 〈プログラムA〉



指揮者

ケン=デイヴィッド・マズア Ken-David Masur

名指揮者のクルト・マズアと、日本のソプラノ歌手桜井偕子の子息として、1977年ドイツ・ライプツィヒ生まれ。2019年エド・デ・ワルトの後任としてミルウォーキー響の音楽監督に就任したほか、同年から北米の重要なトレーニング・オーケストラとして知られる、シカゴ・シビック・オーケストラの首席指揮者もつとめている。PMFには初めての参加。

## 心の言葉を伝える、言語としての音楽

### ―若手音楽家の育成に熱心に向き合われていますね。お父様やバーンスタインの活動に由来するものでしょうか？

父とバーンスタインは若い世代、特に若い音楽家との会話を大切に、彼らが持つ好奇心やエネルギーから多大なインスピレーションを受けていました。音楽は単なるエンターテインメントであるべきではなく、互いを理解し合うための言語でもあったと考えていました。バーンスタインは映画音楽やジャズなどにも精通していましたが、どのジャンルにおいても、音楽の持つ力が与える影響を深く理解していました。私が今若い音楽家の育成を大切にしている理由は、その「音楽の持つ力」に魅力を感じているからです。

### ―今回のプログラムについて教えてください。

メンデルスゾーンの「宗教革命」は私にとって曲は自由を求めるための炎、真実、希望、誠実さ、真偽を表現しています。

「三重協奏曲」はベートーヴェンが我々に残した素晴らしい贈り物です。この曲のソリストたちはミュージックのように光り輝く存在です。この曲はブラームスの二重協奏曲に並ぶ傑作です。「キャン

ディード」序曲はオープニングにふさわしい曲です。素晴らしい原作を元に作曲されており、古さを感じさせません。ユーモアや不条理、皮肉そして社会の構成、それらがこの序曲で表現されています。

私たちは、直面する大きな問題や悲劇に対し、拒絶し怒りを持つこともできれば、それを慈悲の心で受け入れることもできる。シルヴェストロフの「讃歌」は、まさに後者を表わしており、舞い上がる旋律が私たちの共有する死の先にあるものを垣間見られることを許してくれます。それを知ることは、私たちに本当の意味での平穏を与えてくれます。最も辛い箇所に音楽を通して近づくことで、最も希望に満ちたものを見つけることができるでしょう。

### ―PMFに参加する世界各国から集まる若手演奏家にメッセージをお願いします。

指導者と生徒という関係ではなく、一緒に好奇心を持って探求しましょう。今、世界で様々な事が起きている中で、私たちは音楽を通じて人の心を動かし、時に心の言葉を伝える事ができます。PMFでの経験から、より深く心の中で感じるものを見つけてくれることを願っています。

## 人々の心が動く 希望に満ちた響き

Features | ソリスト 上野 透明

## ドイツで活躍する 若き演奏家たちがPMFで集う

PMFのコンサートを聴く楽しみのひとつは、ここでしか体験できないアーティストの組み合わせ、それも若い世代のアーティストたちの共演を聴くことができる点にあるのではないだろうか？2022年の多彩な公演プログラムのなかでも、特にその組み合わせが楽しみな公演が7月16日(土)の「オープニング・コンサート」である。巨匠クルト・マズアの息子であるケン=デイヴィッド・マズアが指揮し、金川真弓(ヴァイオリン)、上野透明(チェロ)、北村朋幹(ピアノ)という日本の若手演奏家3人がベートーヴェンの傑作「ヴァイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲」に挑む。2021年のジュネーブ国際コンクール・チェロ部門で日本人として初めて優勝を挙げた上野透明に、そのコンサートへの期待を尋ねた。

「チェリストにとってベートーヴェンの『三重協奏曲』は貴重な作品です。ベートーヴェンはチェロのための協奏曲を書いていません。そして、この協奏曲の初演でチェロを担当したニコラウス・クラフトは素晴らしい技術を持っていたので、チェロのパートは高音部の音域も多く、とても挑戦しがいのある作品になっています。もちろん、ピアノ三重奏とオーケストラを組み合わせると協奏曲に仕立てるというベートーヴェンのアイデアは特別な意味を持っていると思います」

と、上野はこの作品の魅力を語ってくれた。金川とは初共演、北村とは、これまで何度も共演を重ねてきた。

「実は3人とも、いまドイツで学んでいるので、札幌に来る前にドイツでリハーサルをしようと思っています」

その3人は7月19日の「PMFアンサンブル・セレクション」にも出演して、ブラームスの「ピアノ三重奏曲第1番」を披露する。

「この曲は3人で選びました。ブラームスの初期の作品ですが、彼自身が1889年に改訂を加えた版を使うことにしました。若さに加え、円熟した作曲技法も感じられる1889年版は独特の魅力があります」

PMFのことはもちろん以前から知っていた上野だが、参加するのは今回が初めて。

「自分のまわりでは、PMFに参加したという友人もいたのですが、僕は今までチャンスがありませんでした。オーケストラもオーディションで選ばれた若い演奏家によって編成されているので、自分と同じ世代の若者たちと触れ合う機会があるのも楽しみです。また、最近ですが、パシフィック(pacific)という言葉には「平和な」という意味があることも知りました。まさにこの時期にこの音楽祭に参加できることは大きな意味がありますね」

まさに次代を担う演奏家が集まる2022年のオープニング・コンサートは聴き逃さない。

取材・文 片桐 卓也(音楽ライター)



上野 透明 うえの みちあき

2021年のジュネーブ国際コンクール・チェロ部門で日本人として初めて優勝。1995年バダグアイ生まれ。5歳からチェロを始め、毛利伯郎、P・ウイスベルウエイらに師事。2009年の若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール、2014年のブラームス国際コンクールでも優勝するなど、目覚ましい受賞歴を誇る。PMFには初めての参加。



金川 真弓 かながわ まゆみ

1994年ドイツ生まれ。4歳から日本でヴァイオリンを始め、その後、アメリカに移る。2018年のロン=ティボー=クレスパン国際コンクール第2位、翌年のチャイコフスキー国際コンクールで第4位に入賞して一躍注目される。名倉淑子、川崎雅夫、R・リップセット、K・ブラッハーらに師事。現在はベルリンを拠点に活動をしている。PMFには初めての参加。



北村 朋幹 きたむら ともし

1991年愛知県生まれ。東京藝大、ベルリン芸大で伊藤恵、E・ポフウォツカ、R・ベッカーらに師事。東京音楽コンクール第1位ほか、浜松、シドニー、リーズ、ボン・テレコム・ベートーヴェンの各国際コンクールに入賞。ソロのほかオーケストラの定期演奏会への出演、室内楽、古楽器による演奏など、精力的な活動をしている。PMFには初めての参加。

## Main Program-02 | 聴きどころ

## 文化の交差で奏でる魅力 巨匠の血を引くマエストロと 若きコスモポリタンたちとの競演

文 江藤 光紀 (音楽評論家)

旧東独時代からライプツィヒ・ゲヴァントハウス管を長年率いたクルト・マズアと日本人歌手の間に生まれたケン・デイヴィッド・マズアは、青年期までの教育をドイツで受け、それから父クルトのニューヨーク・フィル音楽監督就任を期にアメリカに移った。2つの国の文化を吸収したケン・デイヴィッドが送るプログラムは、PMF創設者バーンスタインのブロードウェイ・ミュージカル「キャンディード」序曲で華やかに幕を開ける。

続くベートーヴェンの「三重協奏曲」では、いずれもPMF初登場となる三人の若手が登場する。ヴァイオリンの金川真弓もまたドイツ生まれで、世界中の名教師たちに教えを受けたコスモポリタン。旋律を深く歌い込み、音楽を大きく構成していく。金川の一歳下、パラグアイ生まれ、バルセロナでも暮らしたチェリスト上野通明もインターナショナルだ。そのチェロは懐が深く、生き生きと弾み躍動する。ピアノの北村朋幹は藝大からドイツに進んだが、学生時代より本格的な活動を繰り広げ、レパートリーも古楽から現代まで柔軟に幅広い。

早くから国際的な視野を身に付け、これから各楽器のリーディング・プレイヤーになっていく同世

代トリオが描く同作品は、ゴージャスだけでなく、今後の彼らの音楽の進路を予兆するものになるだろう。

メンデルスゾーンはライプツィヒ・ゲヴァントハウス管の指揮者をつとめているので、ケン・デイヴィッドにとっては父親の大先輩にあたる作曲家である。ユダヤ人の大銀行家の家に生まれたメンデルスゾーンは、幼児期にプロテスタントの洗礼を受けている。「宗教改革」は早熟で知られたこの作曲家の2番目の交響曲で、ルターの宗教改革300周年の式典で初演するために作曲され(ただし実現せず)、曲中には有名な讃美歌が引用されている。ライプツィヒはまたルター派のプロテスタントでもあったバツハが後半生を暮らした街でもあり、その伝統は今日まで暮らしの中に息づいている。少年期には合唱団に入るなどして、この街で人格形成をしたケン・デイヴィッドにとって、「宗教改革」は故郷の記憶と直接に結びついた曲なのだろう。自らのルーツの一つでもある日本、それも初登場となるPMFの舞台に、この曲をぶつけてきたことに特別な意味合いを感じる。



江藤 光紀 えとうみつりのり

「日本経済新聞」「ぶらあぼ」「モーストリークラシック」「クラシックニュース」などに定期的に寄稿するほか、コンサートのプロデュースなどを通じ啓発活動や地域社会の活性化にも積極的に取り組んでいる。

## Main Program-02 | コンサート

# 7.16<sup>土</sup>

託児  
詳細 P30

いま注目の顔ぶれが一堂に会し華やかに開幕

## PMF2022 オープニング・コンサート

会場 札幌コンサートホールKitara

時間 15:00開演(開場14:00)

入場料 指定S:¥6,000/指定A:¥5,000/指定B:¥4,000  
U25:各席半額

ケン=デイヴィッド・マズア(指揮) 金川真弓(ヴァイオリン)\*  
PMFヨーロッパ 上野通明(チェロ)\*  
PMFオーケストラ 北村朋幹(ピアノ)\*

[プログラム]

- ◆バーンスタイン:「キャンディード」序曲
- ◆ベートーヴェン:ヴァイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲 八長調 作品56\*
- ◆シルヴェストロフ:讃歌 - 2001 ※日本初演
- ◆メンデルスゾーン:交響曲 第5番 二長調 作品107「宗教改革」



# 7.17<sup>日</sup>

## PMFオーケストラ 苫小牧公演

会場 苫小牧市民会館

時間 18:30開演(開場18:00)

入場料 指定:¥3,500(当日¥4,000)/指定(学生\*):¥2,500(当日同額)  
自由:¥3,000(当日¥3,500)/自由(学生\*):¥2,000(当日同額)  
小中学生無料(要入場整理券)

\*高校生以上

ケン=デイヴィッド・マズア(指揮) 金川真弓(ヴァイオリン)\*  
PMFヨーロッパ 上野通明(チェロ)\*  
PMFオーケストラ 北村朋幹(ピアノ)\*

[プログラム]

- ◆バーンスタイン:「キャンディード」序曲
- ◆ベートーヴェン:ヴァイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲 八長調 作品56\*
- ◆シルヴェストロフ:讃歌 - 2001
- ◆メンデルスゾーン:交響曲 第5番 二長調 作品107「宗教改革」

公演に関するお問い合わせ 苫小牧市教育委員会 生涯学習課 TEL.0144-32-6752



©Adam DeTour

ケン=デイヴィッド・マズア



# Concert Information コンサート情報

## オーケストラ／室内楽

7.19<sup>火</sup> 託児  
詳細 P30

### 厳選の名曲集 PMFアンサンブル・セレクション

ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)\*  
加藤洋之(ピアノ)\*  
金川真弓(ヴァイオリン)\*\*  
上野通明(チェロ)\*\*  
北村朋幹(ピアノ)\*\*  
piaNA(ピアノデュオ 西本夏生&佐久間あすか)\*\*\*

- [プログラム]
- ◆カプースチン:Three for Two~2台ピアノのための3部作 作品145 \*\*\*
  - ◆カプースチン:ディジー・ガレスピーの“マンテカ”によるバラフレーズ 作品129[連弾]\*\*\*
  - ◆サン=サーンス:ロマンス ハ長調 作品48\*
  - ◆サン=サーンス:ハバネラ 作品83\*
  - ◆ブラームス:ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 作品8(1889年版)\*\*

会場 札幌コンサートホールKitara 大ホール  
時間 19:00開演(開場18:20)  
入場料 指定S:¥3,000/指定A:¥2,000/U25:各席半額  
ユース・ウイング(Y):U25無料(同伴者:¥1,000)



7.22<sup>金</sup> 託児  
詳細 P30

### 「PMFでしか聴けない札幌」を堪能 PMFホストシティ・オーケストラ演奏会

ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)  
ダニエル・マツカワ(ファゴット)\*  
札幌交響楽団(PMFホストシティ・オーケストラ)  
ライナー・キュッヒル(ゲストコンサートマスター)

- [プログラム]
- ◆ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 作品56a  
(聖アントニーのコラールによる変奏曲)
  - ◆モーツァルト:ファゴット協奏曲 変口長調 K.191\*
  - ◆シューマン:交響曲 第4番 二短調 作品120(1841年初稿版)

会場 札幌コンサートホールKitara 大ホール  
時間 19:00開演(開場18:20)  
入場料 指定S:¥6,000/指定A:¥5,000/指定B:¥4,000  
U25:各席半額  
ユース・ウイング(Y):U25無料(同伴者:¥1,000)



札幌交響楽団

7.15<sup>金</sup> 託児  
詳細 P30

### PMF2022 プレコンサート PMFウィーン演奏会

PMFウィーン(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団メンバー)  
ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン I)\*  
ダニエル・フロシャウアー(ヴァイオリン II)  
ハインツ・コル(ヴィオラ)\*\*  
シュテファン・ガルトマイヤー(チェロ)  
ミヒャエル・ブラーデラー(コントラバス)

\* 前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター  
\*\* 前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団奏者

- [プログラム]
- ◆クライスラー:弦楽四重奏曲 イ短調
  - ◆ドヴォルザーク:弦楽五重奏曲 ト長調 作品77
  - ◆ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲 第3番 ヘ長調 作品73

会場 札幌コンサートホールKitara 小ホール  
時間 19:00開演(開場18:30)  
入場料 指定:¥5,000/U25:¥2,500(前売券完売)



7.18<sup>月・祝</sup> 託児  
詳細 P30

### PMFベルリン演奏会

PMFベルリン(ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団メンバー)  
ミヒャエル・ハーゼル(フルート)  
ジョナサン・ケリー(オーボエ)  
アレクサンダー・バーダー(クラリネット)  
シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)  
サラ・ウィリス(ホルン)  
タマーシュ・ヴェレンツェイ(トランペット)  
オラフ・オット(トロンボーン)  
フランツ・シンドルベック(パーカッション)  
佐久間晃子(ピアノ)

- [プログラム]
- ◆テレマン:英雄的音楽から
  - ◆ダンツイ:木管五重奏曲 ト短調 作品56 第2番
  - ◆イベール:木管五重奏のための3つの小品
  - ◆ボウルズ:道化芝居のための音楽から

会場 札幌コンサートホールKitara 小ホール  
時間 18:00開演(開場17:30)  
入場料 指定:¥5,000/U25:¥2,500(前売券完売)



7.20<sup>③</sup> 水 託児  
詳細P30

## PMFアンサンブル演奏会

**会場** 札幌コンサートホールKitara 小ホール  
**時間** 14:00開演(開場13:30)  
**入場料** 指定:¥1,000/U25:¥500

PMFオーケストラ・メンバー

[プログラム]

- ◆ラハナー:ヴァイオリン四重奏曲 長調 作品107
- ◆アーノルド:フルート、ヴィオラとファゴットのための三重奏曲 作品6
- ◆武満徹:雨の樹 3人の打楽器奏者のための
- ◆バツェヴィチ:ヴァイオリン四重奏曲
- ◆プロコフィエフ:五重奏曲 短調 作品39

7.21<sup>④</sup> 木

## PMFアンサンブル江別公演

**会場** 江別市民文化ホール(えぼあホール)  
**時間** 18:30開演(開場18:00)  
**入場料** 一般:¥2,000

ハイツ・コル(ヴィオラ/PMFウィーン)

佐久間晃子(ピアノ)

PMFオーケストラ・メンバー

江別市立大麻東中学校 吹奏楽部

[プログラム]

- ◆樽屋雅徳:マドックからの最後の手紙
- ◆バード:オックスフォード伯の行進曲
- ◆ヘンデル(アルバン編):アリア
- ◆ニールセン:木管五重奏曲 作品43
- ◆ヴェーバー:ヴィオラとピアノのための悲歌 作品30
- ◆ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 長調 作品18 第1番 ほか

公演に関するお問い合わせ  
 PMF江別公演実行委員会 TEL.090-8275-2404(高田)

7.24<sup>⑤</sup> 金 未就学OK

## PMFアンサンブル演奏会

～第19回 地域ふれあいコンサート～

**会場** 札幌市苗穂・本町地区センター  
**時間** 13:30開演(開場13:00)  
**入場料** 無料(要整理券)

PMFオーケストラ・メンバー

[プログラム]

- ◆シュポア:ヴァイオリン二重奏曲 長調 作品3-3
- ◆ベートーヴェン:三重奏曲 長調 作品87 から
- ◆ラハナー:ヴァイオリン四重奏曲 長調 作品107
- ◆モーツァルト:セレナーデ 第13番 長調 K. 525  
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

公演に関するお問い合わせ  
 東区伏古本町まちづくりセンター TEL.011-784-5534

7.24<sup>⑥</sup> 土

## PMF時計台コンサート

**会場** 札幌市時計台ホール  
**時間** 19:00開演(開場18:30)  
**入場料** 指定:¥1,000/U25:¥500(前売券完売)

PMFオーケストラ・メンバー

佐久間晃子(ピアノ)

[プログラム]

- ◆バツェヴィチ:ヴァイオリン四重奏曲
- ◆アーノルド:フルート、ヴィオラとファゴットのための三重奏曲 作品6
- ◆プロコフィエフ:五重奏曲 短調 作品39
- ◆ブラームス:ホルン三重奏曲 変ホ短調 作品40

7.21<sup>⑦</sup> 木

## PMFアンサンブル清田区公演

**会場** 札幌国際大学総合情報館シアター  
**時間** 19:00開演(開場18:30)  
**入場料** 自由:¥500/高校生以下:無料(要整理券)

PMFオーケストラ・メンバー

[プログラム]

- ◆ベートーヴェン:三重奏曲 長調 作品87
- ◆バツェヴィチ:ヴァイオリン四重奏曲
- ◆シュポア:ヴァイオリン二重奏曲 長調 作品3-3
- ◆モーツァルト:セレナーデ 第13番 長調 K. 525  
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

公演に関するお問い合わせ  
 清田区地域振興課 TEL.011-889-2024

7.23<sup>⑧</sup> 土

## PMFアンサンブル奈井江公演

**会場** 奈井江町文化ホール(コンチェルトホール)  
**時間** 15:00開演(開場14:30)  
**入場料** 自由:¥2,000/高校生以下:¥700

PMFオーケストラ・メンバー

佐久間晃子(ピアノ)

[プログラム]

- ◆ロッシーニ:『セヴィリアの理髪師』から「それは私だわ」(金管アンサンブル)
- ◆パーンスタイン:ピーマのためのファンファーレ
- ◆ニールセン:木管五重奏曲 作品43
- ◆ブラームス:ホルン三重奏曲 変ホ長調 作品40 ほか

公演に関するお問い合わせ  
 奈井江町教育委員会 TEL.0125-65-5311

7.25<sup>⑨</sup> 月

## PMFアンサンブル函館公演

**会場** 函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)  
**時間** 18:30開演(開場17:45)  
**入場料** 指定:¥3,000/U25:¥1,000

ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)

ハイツ・コル(ヴィオラ)

PMFオーケストラ・メンバー

[プログラム]

- ◆ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 長調 作品18 第1番
- ◆シュポア:ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 短調 作品13
- ◆ブラームス:弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 作品18

公演に関するお問い合わせ  
 はこだて音楽鑑賞協会 TEL.0138-32-1773

7.28<sup>⑩</sup> 木

## PMFアンサンブル演奏会

**会場** 札幌コンサートホールKitara 小ホール  
**時間** 19:00開演(開場18:30)  
**入場料** 指定:¥2,000/U25:¥1,000

PMFアメリカ

デニス・ブリアコフ(フルート)  
 シンシア・コリード・ディアルメイダ(オーボエ)  
 ジョゼフ・ペレイラ(パーカッション)

PMFセクションリーダー

林七奈(ヴァイオリン)  
 向井航(チェロ)  
 金子亜未(オーボエ)  
 エリック・パケラ(パーカッション)

佐久間晃子(ピアノ)

PMFオーケストラ・メンバー ほか

[プログラム]

- ◆ダマーズ:フルート、オーボエとピアノのための三重奏曲
- ◆マルティヌー:オーボエ四重奏曲 H.315 ほか

# 7.29<sup>金</sup> 託児 PMFアメリカ演奏会

会場 札幌コンサートホールKitara 小ホール  
時間 19:00開演(開場18:30)  
入場料 指定:¥5,000/U25:¥2,500

PMFアメリカ(北米のメジャー・オーケストラで活躍する首席奏者)

- ヌリット・バー・ジョセフ(ヴァイオリン)
- スティーヴン・ローズ(ヴァイオリン)
- ダニエル・フォスター(ヴィオラ)
- ハイ・イエ・ニ(チェロ)
- アレクサンダー・ハンナ(コントラバス)
- アントン・リスト(クラリネット)
- ダニエル・マツカワ(ファゴット)
- ウィリアム・カバレロ(ホルン)
- マーク J. イノウエ(トランペット)
- ティモシー・ヒギンズ(トロンボーン)

佐久間晃子(ピアノ)

PMFオーケストラ・メンバー

[プログラム]

- ◆クセナキス:オコ
- ◆クーツィール:トランペットとトロンボーンのための協奏曲 作品17
- ◆シューベルト:八重奏曲 へ長調 D. 803



# 音楽普及・教育プログラム

# 7.18<sup>月・祝</sup> PMFクラシックLABO♪ 音楽を旅する ドイツ編

会場 札幌コンサートホールKitara 小ホール  
時間 13:00開演(開場12:30)  
入場料 指定:¥2,000/U25:¥1,000

「PMFクラシックLABO♪」は、クラシック音楽の魅力を多角的にお楽しみいただく音楽講座です。シリーズ「音楽を旅する」では、お話と演奏を織りませ、豊かな音楽文化を育んだヨーロッパの国々を巡りながら、時代と人と作品にアプローチします。

シリーズ2回目のテーマは「ドイツ」。“3大B”と称されるバッハ、ベートーヴェン、ブラームスを中心に、ドイツの音楽家たちの作品を紹介します。

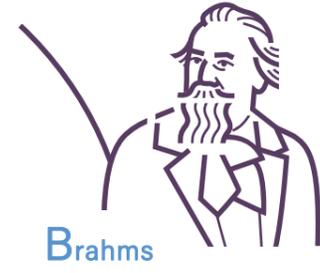
## 2台のピアノとお話で ドイツ“3大B”にアプローチ!



Bach

バッハってどんな人?  
~“音楽の父”の偉業  
紹介曲:トッカータとフーガ 二短調 BWV565 ほか

「音楽の父」と呼ばれるJ.S.バッハ、  
時代の転換期を生き抜いたベートーヴェン、  
ドイツ・ロマン派の代表格ブラームス、  
それぞれの傑作を紐解きます。  
さらに、ドイツの音楽シーンを語る上で欠かせない  
メンデルスゾーンとシューマンも登場します。



Brahms

ブラームスってどんな人?  
~ドイツ・ロマン派の正統派  
紹介曲:交響曲 第1番 ほか



Beethoven

ベートーヴェンってどんな人?  
~時代の革命児  
紹介曲:交響曲 第5番「運命」 ほか



Mendelssohn & Schumann

“3大B”だけじゃない  
~メンデルスゾーンとシューマンの芸術

お話はクラシック音楽ファシリテーターの飯田有抄、そして巨匠作曲家たちの音楽を2台のピアノを使って、ピアノ作品のみならず、室内楽や交響曲も鮮やかに奏でるのは、今大注目のピアノ・デュオpiaNA(西本夏生・佐久間あすか)です。

バロック時代からロマン派時代にわたるドイツの音楽シーンを一緒に旅しましょう!



企画監修・ナビゲーター  
飯田有抄 (クラシック音楽ファシリテーター)

小樽市生まれ。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程、マッコーリー大学院修士課程通訳・翻訳修了。著書に『ブルクミュラー25の不思議』(共著、音楽之友社)、『ようこそ!トイピアノの世界へ』(カワイ出版)等がある。(公財)福田靖子賞基金理事。



ピアノデュオ  
piaNA (西本夏生 & 佐久間あすか)

これまで国内外において演奏を行い、好評を博す。ウクライナの作曲家ニコライ・カプースチンに献呈されたピアノデュオ曲を収録したアルバムを2021年にリリース。メディアに取り上げられ話題となる。11年グリーグ国際ピアノコンクール連弾部門ファイナリスト。

## 国境、文化を越え、音楽で集う。

### PMFオーケストラ、3年ぶりに編成。

2019年以来、3年ぶりの編成となるPMFオーケストラは、56カ国・地域から973人が受験したオーディションで選ばれた52人のアカデミー生と、国内のプロオーケストラ等で活躍する修了生らがセクションリーダーをつとめる精鋭ぞろいのオーケストラです。PMFヨーロッパ、PMFアメリカの教授陣が演奏に加わる公演ではさらに迫力が増すこと間違いなし。

国境を越え、言葉や文化などの違いを尊重しながらひとつのハーモニーを奏でるPMFオーケストラの魅力をあらためてこの夏、ご堪能ください。

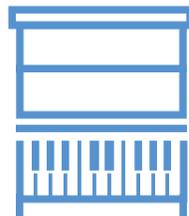


### ストリートピアノ in 赤れんがテラス

PMF2022の開催に合わせて、赤れんがテラスにストリートピアノが登場。誰でも気軽に演奏でき、その場で作り上げていく、自由な音楽が楽しめます。

期間  
7.13(水)~8.1(月)  
11:00~19:00

場所  
赤れんがテラス  
1Fアトリウム



## PMF公開マスタークラス

PMFに参加する世界最高峰の教授陣が、北海道で音楽を専攻する学生やPMFオーケストラ・メンバーに指導を行うシーンを公開します。

**会場** 札幌コンサートホールKitara 小ホール **入場料** 指定:¥1,000/U25:¥500

# 7.13<sup>水</sup>

## PMF公開マスタークラス I

～ヴァイオリン／クラリネット～

**時間** 18:30開演(開場18:00)

### 第1講

ヴァイオリン指導:ライナー・キュッヒル(PMFウィーン)

受講生:太田 楽(北海道教育大学岩見沢校 科目等履修生)

ピアノ:古俣彩寧

[受講曲目]

ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調「春」作品24

### 第2講

クラリネット指導:アレクサンダー・バーダー(PMFベルリン)

受講生:阿部奈那子(札幌大谷大学芸術学部 音楽学科4年生)

ピアノ:金子真梨子

[受講曲目]

ウェーバー:クラリネット協奏曲 第1番 へ短調 作品73

# 7.23<sup>土</sup>

## PMF公開マスタークラス III

～ヴィオラ&室内楽～

**時間** 14:00開演(開場13:30)

ヴィオラ指導:ハインツ・コル(PMFウィーン)

PMFオーケストラ・メンバー

[受講曲目]

ベートーヴェン:三重奏曲 八長調 作品87

# 7.14<sup>木</sup>

## PMF公開マスタークラス II

～トランペット～

**時間** 18:30開演(開場18:00)

### 第1講

トランペット指導:タマーシュ・ヴェレンツェイ(PMFベルリン)

受講生:大矢知音(北海道教育大学岩見沢校 音楽文化専攻4年生)

ピアノ:島山伶寧

[受講曲目]

イヴェイゼン:トランペットとピアノのためのソナタから第3楽章

### 第2講

トランペット指導:タマーシュ・ヴェレンツェイ(PMFベルリン)

受講生:成田貴紀(札幌大谷大学芸術学部 音楽学科4年生)

ピアノ:三上慎太郎

[受講曲目]

シャルル・シェーナ:トランペット協奏曲

# 7.27<sup>水</sup>

## PMF公開マスタークラス IV

～フルート／ホルン～

**時間** 18:30開演(開場18:00)

### 第1講

フルート指導:デニス・ブリアコフ(PMFアメリカ)

受講者:出口夢果(北海道教育大学岩見沢校 音楽文化専攻1年生)

ピアノ:永沼絵里香

[受講曲目]

クーラウ:オイリアンテの主題による変奏曲

### 第2講

ホルン指導:ウィリアム・カバレロ(PMFアメリカ)

受講生:阿部汐莉(札幌大谷大学芸術学部 音楽学科3年生)

ピアノ:相澤宏香

[受講曲目]

モーツァルト:ホルン協奏曲 第4番 変ホ長調 K. 495

# 7.19<sup>火</sup>



## PMFリンクアップ・コンサート

ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)

九嶋香奈枝(司会・ソプラノ)

穴澤彩佳(ソプラノ)

岡元敦司(バリトン)

PMFオーケストラ

札幌市立小学校(7校)の小学6年生 約580人

北光小学校/緑丘小学校/美香保小学校/稲積小学校

中の島小学校/屯田南小学校/琴似中央小学校

[プログラム]

◆トーマス・キャバニス:Come to Play

◆ブラームス(シュメリング編):ハンガリー舞曲 第5番

◆J. シュトラウスII:美しく青きドナウ 作品314

◆ビゼー:歌劇『カルメン』から「闘牛士の歌」

◆ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」(1919年版)から

◆岡野貞一:ふるさと

◆フィーリョ:シダーチ マラヴィリョーザ～すばらしい街～

※小学生が学校の授業で学んだ曲をPMFオーケストラと共演します。通常のコンサートとは異なりますので、あらかじめご了承ください。

## オープンリハーサル

PMFでは世界一流の音楽指導風景を一般の方に公開する「オープンリハーサル」を設けています。オーケストラのリハーサルをご鑑賞いただけます。本番とは違う緊張感の中で取り組む音楽作りをリハーサルからお楽しみください。

**会場** 札幌コンサートホールKitara(大ホール)

**受付方法** 事前申し込みはありません。当日会場に直接お越しください。先着順に受付し、定員になり次第、締め切らせていただきます。

**定員** 各日200名

**参加資格** 下記の方を対象とし無料で公開します。

ご入場いただける方	U25* (小学生以上の方)	リハーサルを行う 当該演奏会のチケットを お持ちの方	PMF フレンズ会員	音楽関係者**
当日の受付方法	年齢を確認できるものご提示 ※小学生は中学生以上の同伴が必要です。 未就学児童の入場はご遠慮いただいております。	チケットのご提示	会員証のご提示	身分証などのご提示

\*U25=1997(平成9)年以降にお生まれの方 \*\*音楽関係者には楽器演奏者、音楽教育者、音楽教育を受けている方(音楽教室含む)、音楽に関わるなんらかの活動(サークル活動、普及活動、出版、ボランティアなど)をされている方を含みます。

※上記対象者以外の方はリハーサルにはご入場いただけませんのであらかじめご了承ください。

# 7.14<sup>木</sup>/7.15<sup>金</sup>

PMFオーケストラ

〈プログラムA〉

**時間** 14:00～(受付13:30)

ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)

PMFオーケストラ ほか

# 7.22<sup>金</sup>

札幌交響楽団

〈PMFホストシティ・オーケストラ演奏会〉

**時間** 15:30～(受付15:00)

ケン=デイヴィッド・マズア(指揮)

札幌交響楽団(PMFホストシティ・オーケストラ)

# 7.28<sup>木</sup>/7.29<sup>金</sup>

PMFオーケストラ

〈プログラムB〉

**時間** 14:00～(受付13:30)

ラハフ・シャニ(指揮)

PMFオーケストラ

# 出演者 | Performers

## アカデミー

**Violin**

マヌエル・デ・ラ・クルーズ・アギレラ  
Manuel de la Cruz Aguilera  
ハバナ・ライシー・アム・オーケストラ  
[Cuba]

藤岡 佐恵子  
Saeko Fujioka  
フリーランス  
[Japan]

池田 有邑  
Yuyu Ikeda  
ジュリアード音楽院  
[Japan]

猪子 奈津子  
Natsuko Inoko  
愛知県立芸術大学  
[Japan]

ヨセフ・ジン  
Joseph Jin  
マネス音楽院  
[Korea]

マルティーナ・カシュコヴィアク  
Martyna Kaszkowiak  
ルクセンブルク・フィルハーモニー  
管弦楽団アカデミー  
[Poland]

高麗 みなみ  
Minami Korai  
リヨン国立高等音楽・  
舞踊学校  
[Japan]

ティン・ヤン・リン  
Tin Yan Lee  
オーケストラNow  
[Hong Kong]

チャーリー・リン  
Charlie Lin  
南カリフォルニア大学  
[USA]

メガン・リン  
Megan Lin  
クレーヴランド音楽院  
[USA]

ミンルン・リユー  
Minglun Liu  
ニューワールド  
シンフォニー  
[China]

ヴェロニカ・マンチュール  
Veronika Manchur  
USCソートン  
音楽学校  
[Canada]

松本 茉依  
Mai Matsumoto  
ジュリアード音楽院  
[Japan]

野村 建太  
Kenta Nomura  
ジュリアード音楽院  
[Japan]

エミリー・桜子・  
リチャードソン  
Emily S. Richardson  
ライス大学  
[Japan/USA]

カタ・  
ストヤノヴィッチ  
Kata Stojanović  
ベオグラード芸術大学  
[Serbia]

ユー・カイ・サン  
Yu Kai Sun  
コルバーン・  
スクール音楽院  
[Canada]

竹原 ゆき乃  
Yukino Cecile  
Takehara  
リユーベック音楽大学  
[Japan/USA]

吉田 紫花  
Sumire Yoshida  
東京藝術大学  
[Japan]

**Viola**

ジェイ・フリオ  
Jay Julio  
ロサンゼルス  
室内楽オーケストラ・  
フェロー  
[USA]

加藤 星南  
Seina Kato  
フリーランス  
[Japan]

カーティス・ラウ  
Curtis Lau  
シドニー音楽院  
[Australia]

サーリー・生富 楠奈  
Nanna Ikutomi Sorii  
フリーランス  
[Norway]

田中 早紗  
Hayasa Tanaka  
デトモルト音楽大学  
[Japan/Australia]

デリック・ウェア  
Derrick Ware  
ノースウェスタン大学  
[USA]

**Cello**

リダニス・グラテロル  
Lidany Graterol  
ゲルネリホール(シカゴ)  
所属アーティスト  
[Venezuela]

ドンニョク・  
サンライズ・キム  
Dong Nyouk Sunrise Kim  
ハンスアイスラー音楽大学  
[Korea]

牟田口 遥香  
Haruka Mutaguchi  
フライブルク音楽大学  
[Japan]

ロビン・パーク  
Robin Park  
プリンストン大学  
[USA]

**Double Bass**

ジェイソン・ヘネリー  
Jason Henery  
カーティス音楽院  
[Australia/UK]

ウェン・ボン  
Wen Peng  
ミシガン州立大学  
[China]

**Flute**

マヌエル・  
アストゥディエロ・  
キンテロ  
Manuel Astudillo Quintero  
ジュネーブ州立  
高等音楽院  
[Chile]

コイ・ディン  
Khoi Dinh  
ジュリアード音楽院  
[USA]

**Clarinet**

ヘ・ソル・  
エイミー・ハー  
Hae Sol Amy Hur  
イェール音楽学校  
[USA]

篠塚 友里江  
Yurie Shinotsuka  
フリーランス  
[Japan]

**Horn**

ローレン・アンカー  
Lauren Anker  
カナダ国立芸術センター  
管弦楽団  
[USA]

花澤 良平  
Ryohei Hanazawa  
フリーランス  
[Japan]

エルネスト・  
エレラ  
Ernesto Herrera  
フリーランス  
[Cuba]

時田 佳奈  
Kana Tokita  
トロンゲン音楽大学  
[Japan]

**Trumpet**

ハビエル・ラサルテ・  
プエロ  
Javier Lasarte Puyuelo  
アムステルダム音楽院  
[Spain]

ヴィンセント・イム  
Vincent Yim  
ジュリアード音楽院  
[Hong Kong]

**Trombone**

イライ・グリサル・  
ドロリ  
Elai Grisar Drori  
ハノーファー  
音楽演劇大学  
[Israel]

リカルド・オルテガ・  
リベラ  
Ricard Ortega Ribera  
ベルリン芸術大学  
[Spain]

**Bass Trombone**

ナジーブ・  
ゴンサーレス  
Nayib González  
フリーランス  
[Puerto Rico/USA]

**Tuba**

マヌエラ・  
ディアス・エナオ  
Manuela Diaz Henao  
チューリッヒ芸術大学  
[Colombia]

**Percussion**

ルカ・エスポジト  
Luca Esposito  
グレン・グールド  
王立音楽院  
[USA]

マーティアシュ・ホロ  
Mátyás Holló  
チューリッヒ芸術大学  
[Hungary]

ポール・マシューズ  
Paul Matthews  
南カリフォルニア大学  
[USA]

首席指揮者



ラハフ・シャニ  
Lahav Shani  
イスラエル・フィルハーモニー  
管弦楽団音楽監督

©Marco Borggreve

客演指揮者



ケン=デイヴィッド・  
マズア  
Ken-David Masur  
ミルウォーキー交響楽団音楽監督

©Adam DeTour

Piano



小曽根 真  
Makoto Ozono

©Kazuyoshi Shimomura

Violin



金川 真弓  
Mayumi Kanagawa

©Kaupo Kikkas

Cello



上野 通明  
Michiaki Ueno

Piano



北村 朋幹  
Tomoki Kitamura

©TAKA MAYUMI

Violin



三浦 文彰  
Fumiaki Miura

©Yuji Hori

Piano



高木 竜馬  
Ryoma Takagi

©池上夢貴

Organ



ニコラ・  
プロカッチーニ  
Nicola Procaccini  
第22代  
札幌コンサートホール  
専属オルガニスト

Piano



加藤 洋之  
Hiroshi Kato

Piano



ピアノデュオ  
piaNA  
西本 夏生 & 佐久間 あすか  
Natsuki Nishimoto & Asuka Sakuma

©Masaaki Hiraga



PMFオーケストラ  
PMF Orchestra

オーディションを経て選ばれた52人の若手音楽家に国内オーケストラで活躍する修了生等が加わるひと夏限りのオーケストラ。国籍、文化的な背景や言葉を超えて奏でる豊かなハーモニーはPMFオーケストラ最大の魅力。2019年以来、3年ぶりの編成となる。



札幌交響楽団  
Sapporo Symphony Orchestra  
PMF ホストシティ・オーケストラ

©Yasuo Fujii

HBCジュニアオーケストラ  
HBC Junior Orchestra



From OZONE Till DAWN  
PMF Special Trio  
鈴木瑠子×松井秀太郎×石川紅奈



教授

PMFヨーロッパ (PMFウィーン)

Violin



ライナー・  
キュッヒル  
Rainer Küchl  
前ウィーン・フィルハーモニー  
管弦楽団コンサートマスター

Violin



ダニエル・  
フロシャウアー  
Daniel Froschauer  
ウィーン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Viola



ハインツ・コル  
Heinrich Koll  
前ウィーン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Cello



シュテファン・  
ガルトマイヤー  
Stefan Gartmayer  
ウィーン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Double Bass



ミハエル・  
ブラーデラー  
Michael Bladerer  
ウィーン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

PMFヨーロッパ (PMFベルリン)

Flute



ミハエル・  
ハーゼル  
Michael Hasel  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Oboe



ジョナサン・ケリー  
Jonathan Kelly  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Clarinet



アレクサンダー・  
バーダー  
Alexander Bader  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Bassoon



シュテファン・  
シュヴァイゲルト  
Stefan Schweigert  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Horn



サラ・ウィリス  
Sarah Willis  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Trumpet



タマーシュ・  
ヴェレンツェイ  
Tamás Velenczei  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Trombone



オラフ・オット  
Olaf Ott  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

Percussion



フランツ・  
シュンドルベック  
Franz Schindlbeck  
ベルリン・  
フィルハーモニー  
管弦楽団

PMFアメリカ

Violin



ヌリット・バー・  
ジョセフ  
Nurit Bar-Josef  
ワシントン・ナショナル  
交響楽団

Violin



スティーヴン・  
ローズ  
Stephen Rose  
クリーヴランド  
管弦楽団

Viola



ダニエル・  
フォスター  
Daniel Foster  
ワシントン・ナショナル  
交響楽団

Cello



ハイ・イエ・ニ  
Hai-Ye Ni  
フィラデルフィア  
管弦楽団

Double Bass



アレクサンダー・  
ハンナ  
Alexander Hanna  
シカゴ交響楽団

Flute



デニス・ブリアコフ  
Denis Bouriakov  
ロサンゼルス・  
フィルハーモニック

Oboe



シンシア・  
コリード・  
ディアルメイダ  
Cynthia Koledo  
DeAlmeida  
ピッツバーグ交響楽団

Clarinet



アントン・リスト  
Anton Rist  
メトロポリタン  
歌劇場管弦楽団

Bassoon



ダニエル・マツカワ  
Daniel Matsukawa  
フィラデルフィア  
管弦楽団

Horn



ウィリアム・カバレロ  
William Caballero  
ピッツバーグ交響楽団

Trumpet



マーク J. イノウエ  
Mark J. Inouye  
サンフランシスコ  
交響楽団

Trombone



ティモシー・ヒギンズ  
Timothy Higgins  
サンフランシスコ  
交響楽団

Percussion



ジョゼフ・ペレイラ  
Joseph Pereira  
ロサンゼルス・  
フィルハーモニック

PMFピアニスト



佐久間 晃子  
Akiko Sakuma

セクションリーダー

プログラムA

Violin



佐々木 絵理子  
Eriko Sasaki  
新日本フィルハーモニー  
交響楽団  
フォアシュピーラー

Viola



朴 梨恵  
Rie Park  
フリーランス

Cello



水野 優也  
Yuya Mizuno  
ハンガリー・国立リスト・  
フェレンツ音楽大学

Double Bass



安田 修平  
Shuhei Yasuda  
東京交響楽団

プログラムB

Violin



林 七奈  
Nana Hayashi  
大阪交響楽団  
コンサートマスター

Viola



山田 麻紀子  
Makiko Yamada  
京都市交響楽団

Cello



向井 航  
Wataru Mukai  
関西フィルハーモニー  
管弦楽団 首席

Double Bass



城 満太郎  
Mantaro Jo  
新日本フィルハーモニー  
交響楽団  
フォアシュピーラー

Flute



野津 臣貴博  
Nao (Mikihiro) Nozu  
大阪フィルハーモニー  
交響楽団 首席

Oboe



金子 亜未  
Ami Kaneko  
読売日本交響楽団 首席

Clarinet



梅本 貴子  
Takako Umemoto  
関西フィルハーモニー  
管弦楽団 首席

Bassoon



長 哲也  
Tetsuya Cho  
東京交響楽団 首席

Horn



ジョナサン・ハミル  
Jonathan Hamill  
東京交響楽団 首席

Percussion



エリック・ペケラ  
Eric Piekara  
日本フィルハーモニー  
交響楽団 首席

## PMF2022 プレイガイド情報(札幌公演)

### PMF組織委員会

インターネット  
「PMFオンラインサービス」(24時間)  
011-242-2211(平日10:00~17:00)

※事務局窓口での販売は行っていません。  
あらかじめご了承ください。



### Kitaraチケットセンター

011-520-1234  
(10:00~18:00 休館日除く)

### 道新プレイガイド

札幌市民交流プラザチケットセンター

0570-00-3871  
(10:00~17:00 日曜定休)



### チケットぴあ(セブンイレブン)



### ローソンチケット

(全国のローソン・ミニストップ)



## 便利な「電子チケット」のご案内

PMF2022では部分的に「電子チケット」を導入しております。公演当日に必要なものはスマートフォンだけ！紙のチケットの代わりにスマートフォンに届くチケットを入口でご提示いただけます。一緒にご来場される方への受け渡しもスマートフォンで完結。ぜひこの機会にお試しください！

### ご利用の流れ

- PMF公式ウェブサイト内「PMFオンラインサービス」で電子チケットをご購入いただけます。  
☆公演2日前まで販売  
お支払いはクレジットカードのみとなります。  

- お支払い完了後、ご来場者様にはメールで「チケットURL」が届きます。  
※メールに記載された注意事項をかならずご確認ください。  
※チケットURLは、一度使用すると再度ご利用いただけません。チケットURLの管理にはご注意ください。
- チケットURLをタップして、「PMFオンラインサービス」にログインのうえ、チケット画面を開いてください。  
複数枚チケットを購入された場合、チケットを横にスワイプすると、次のチケットがご確認いただけます。  
事前に一緒にご来場される方にチケットを分配することもできます。  
※受け渡し方法は、「メール」「LINE」「Facebook Messenger」「WhatsApp Messenger」のいずれかを選択することができます。
- 公演当日、ご来場時、スマートフォンでチケットURLにアクセスし「PMFオンラインサービス」にログインのうえ、「チケットを表示」をタップして、入場口で画面を係員に提示してください。  
続いて、チケットの「消し込み」を行っていただきます。スマートフォンの画面上に指で大きく円を描いてください。  
電子チケット上にスタンプ画像が表示されましたら操作は完了です。そのままご入場ください。



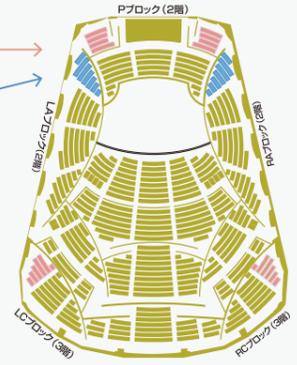
## 無料のユース・ウイング席でクラシック音楽を体験しよう！

### ～ユース・ウイング席のご案内～

クラシック音楽を未来につなげるため、U25対象の「ユース世代」向けに、ステージを一望できる「ユース・ウイング(Y)席」を設け、無料でクラシック音楽の生演奏を体験していただく制度です。あなたもKitaraでクラシック音楽の響きを体験してみませんか？

- 対象者**
- U25の方：1997(平成9)年以降にお生まれの方(未就学児除く)
  - U25以外の同伴者：1,000円(人数制限なし・未就学児でなければ年齢は問いません)
- ※チケット代は公演当日に会場の専用窓口でお支払いいただきます(現金のみ)。

- 対象公演**
- PMFアンサンブル・セレクション**  
7月19日(火)19:00開演(18:20開場)  
座席：2階LA・RAブロックの一部(指定席)  
会場：札幌コンサートホールKitara(大ホール)  
演奏時間：約2時間(途中休憩あり)
  - PMFホストシティ・オーケストラ演奏会**  
7月22日(金)19:00開演(18:20開場)  
座席：2階Pブロック、3階LC・RCブロックの一部(指定席)  
会場：札幌コンサートホールKitara(大ホール)  
演奏時間：約2時間(途中休憩あり)



- お申込み手順**
- STEP 1**  
原則、事前申込が必要です。  
インターネット「PMFオンラインサービス」  
※利用登録は年中24時間受付中！  
※システムの都合上、同伴者の価格が0円と表示されますが、お一人様1,000円(税込)となります。  
お電話  
011-242-2211(平日10:00~17:00)
- STEP 2**  
・当日会場にてチケットをお渡します。会場入口に設ける専用受付で「予約者名」をお申し出いただくとともに、U25の方の生年月日を確認できる身分証明書などをご提示ください。  
・U25以外の同伴者の方も、その場でチケット代をお支払いください(現金のみ)。

- ご注意**
- 指定席公演です。お座席はお選びいただけません。
  - 残席がある場合、公演会場で当日申込も受け付けます。
  - 事前に申し込んだものの都合によりご来場できなくなった方は、座席返納を公演前日までに申し出ください(ネット・お電話)。一人でも多くの希望者にご入場いただけるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染症対策と、ご来場される皆さまへのお願い

PMFでは、札幌市保健所のアドバイスのもと、クラシック音楽公演運営推進協議会等が策定するガイドラインに沿った対策を以下のとおり行っています。お客様におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。



詳しくはこちらをご覧ください。



## 会場のご案内

### 札幌コンサートホール *Kijtara*

札幌市中央区中島公園1-15  
TEL 011-520-2000

#### ○アクセス

地下鉄南北線「中島公園」駅下車(3番出口)徒歩7分  
地下鉄南北線「幌平橋」駅下車(1番出口)徒歩7分  
市電「中島公園通」停下車4分

※ホールには駐車場がありません。公共の交通機関をご利用ください。



託児サービス(有料・事前予約制)	
■お問い合わせ・お申込み 札幌シッターサービス TEL 011-281-0511(平日 9:00~18:00)	
■対象公演	
7/15(金)PMFウィーン演奏会	7/20(水)PMFアンサンブル演奏会
7/16(土)オープニングコンサート	7/22(金)PMFホストシティ・オーケストラ演奏会
7/18(月)PMFベルリン演奏会	7/29(金)PMFアメリカ演奏会
7/19(火)アンサンブル・セレクション	7/31(日)PMF GALA コンサート

### 札幌芸術の森・野外ステージ

札幌市南区芸術の森2丁目75  
TEL 011-592-5111

#### ○アクセス

地下鉄南北線「真駒内(マコマナイ)」駅の  
中央バス2番乗り場【空沼線・滝野線】「芸術の森センター」行に乗車  
→「芸術の森センター」停(終点)で下車

#### ○所要時間

札幌駅→(地下鉄17分)→真駒内駅→(中央バス15分)→芸術の森

#### ○バス運賃

大人300円/小人150円(地下鉄乗り継ぎ料金あり)

※終点の一つ手前「芸術の森入口」停で下車しますと、野外ステージ入口ゲートまで徒歩で約15分かかります。

※駐車場の混雑緩和のため、ご来園の際は公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。



臨時駐車場(有料¥500)のご案内



### 札幌国際大学 総合情報館シアター

札幌市清田区清田4条1丁目4番1号 TEL 011-881-8844

- 地下鉄東豊線「福住」駅から、中央バス「清田2条1丁目」下車徒歩8分
- 地下鉄東豊線「福住」駅から、中央バス「札幌国際大学前」下車徒歩5分
- 地下鉄東西線「南郷18丁目」駅から中央バス「札幌国際大学前」下車徒歩5分

### 札幌市 苗穂・本町地区センター

札幌市東区本町2条7丁目2-10 TEL 011-784-7833

- 地下鉄東豊線「環状通東」駅から徒歩20分前後
- 中央バス 中央バス 東60番(北15条線)東62番(本町線)東69番(北札幌線)本町2条6丁目もしくは8丁目の停留所下車徒歩3分

### 札幌市時計台ホール

札幌市中央区北1条西2丁目 TEL 011-231-0838

- JR「札幌」駅下車、地下歩行空間を大通方面へ約10分 9番出口徒歩2分
- 地下鉄南北線、東西線、東豊線「大通」駅下車、市役所側出口徒歩2分

### 苫小牧市民会館

苫小牧市旭町3丁目2-2 TEL 0144-33-7191

- JR「苫小牧」駅下車徒歩15分

### 江別市民文化ホール(えぼあホール)

江別市大麻中町26-7 TEL 011-387-3120

- JR:「大麻」駅下車徒歩3分

### 奈井江町文化ホール(コンチェルトホール)

空知郡奈井江町字奈井江町243番地24 TEL 0125-65-6066

- JR「奈井江」駅下車徒歩1分

### 函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)

函館市五稜郭町37-8 TEL 0138-55-3521

- 市電「五稜郭公園前」下車徒歩約10分

### サントリーホール

東京都港区赤坂1丁目13-1 TEL 03-3505-1001

- 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅下車(3番出口)徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅下車(13番出口)徒歩10分

# Pacific Music Festival

7.16<sup>土</sup> → 8.2<sup>火</sup>

## PMF2022

音楽祭の継続に向けたクラウドファンディングにご協力をお願いします。

コロナ禍を乗り越え、環境の変化に対応しながら今後も高い水準を保ちPMFを継続開催していくために、今年もクラウドファンディングを実施しています。

PMFの特色ある事業は、世界屈指の演奏家による若手音楽家の育成と多彩な公演プログラムです。こうしたPMFの魅力により多くの方々に知っていただき、コンサート会場へ足を運んでくださる方々の裾野を広げると同時に、音楽祭運営へのご支援を募るプロジェクトです。

詳細・支援についてはREADYFORプラットフォームサイトにて公開中



#### 実施期間

2022年5月25日(水) 10:00 ~ 7月11日(月) 23:00まで

#### リターン内容(一部)



・PMFオーケストラリハーサル見学とバックステージツアー



・PMF教授によるワンポイントレッスン



・PMF教授陣のアンサンブル演奏会リハーサル見学と写真撮影



・PMFオーケストラ指揮体験



・PMFオーケストラ東京公演鑑賞チケットとコンサート後のフェアウェルレセプションへのご招待



・PMF創設芸術監督マイケル・ティルソン・トーマス直筆サイン入り色紙(額装)



- ・ピクニックコンサート鑑賞とともに楽しむ札幌の観光スポット
- ・藻岩山山頂(ロープウェイとミニケーブルカー乗車券付)
- ・大倉山展望台(リフト券とオリンピックミュージアム入場券付)
- ・札幌市円山動物園(入場券付)



- ・ピクニックコンサート鑑賞とともに札幌のプロスポーツチームも応援!
- ・北海道コンサドーレ札幌選手のサイン入り2022シーズンユニフォーム
- ・レバンガ北海道2022-23開幕戦チケットと選手のサイン入りグッズのセット

